

平成 24 年度再評価対象事業 (事業採択後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課題)	備考
	一般県道切木唐津線 地域自主戦略交付金 事業主体：県 事業地：唐津市	本路線は、唐津市肥前町切木の(主)肥前呼子線と、唐津市佐志の(主)唐津呼子線を結ぶ道路である。 国道204号佐志バイパスから(主)唐津呼子線に至る区間においては、沿道に住宅、商店などが隣接しているが、幅員が狭小で、歩道が未整備であり、非常に危険な状況である。 そのため、沿線交通の円滑化と安全の確保を図る。	全体事業費：8.5億円 工期：H15～H25 事業内容： 延長 L=270m 幅員 W=15.0(6.0)m  改良工 L=270m 舗装工 L=270m 测试 1式 用地補償 1式	H23末進捗率：約85% (事業費ベース)  (年平均進捗率9%)  ○用地買収は完了している。 ○平成25年度供用開始予定	交通量の推移 ・これまでに佐志バイパスが開通し、更に平成30年頃には、現在整備中の唐房バイパスが開通予定であり、湊方面への通過交通は唐房入口南(仮称)交差点を利用することとなるため、更なる交通量の増大が予想される。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。  B/C = 1.4	(コスト削減) ・再生資材や現地発生品の利用促進を図っている。  ・工事で発生する残土を盛土等に流用する。  ・水路移設にあたり、施工方法の見直しを行っている。 (仮設矢板→大型土のう)  (代替案の検討) ・特になし	着手より10年経過のため再評価	継続  ・事業の必要性に変化が無い。 ・現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。	

